

問1 戦国時代の都市についてまとめられた資料において、「有力な商人による自治的な運営が行われていたこと」「種子島に伝来した鉄砲の主要な生産拠点となったこと」「千利休などの商人がわび茶の文化を完成させたこと」という3つの特徴を持つ、現在の大阪府に位置する港町はどこですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. 堺
2. 長崎
3. 博多
4. 平戸

問2 戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。
2. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。
3. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。
4. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。

問3 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の戦国時代の戦い方や社会にどのような変化をもたらしましたか。最も適切な説明を選んでください。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

1. 鉄砲の製造に高度な技術が必要だったため、戦国大名同士の争いが一時的に停止した
2. 足軽による集団戦法が普及し、強力な攻撃を防ぐために城の造りがより堅固になった
3. 騎馬武者による一騎打ちが戦いの主流となり、個人の武勇がより重視されるようになった
4. 弓矢や刀剣が全く使われなくなり、すべての兵士が鉄砲のみを装備して戦うようになった

問4 15世紀末のヨーロッパでは、肉の保存や調味に不可欠な香辛料をイスラム勢力を介さず直接入手することが求められていました。この背景のうち、ポルトガルの支援を受け、アフリカ大陸南端の喜望峰を回りインドへ到達する航路を切り開いた人物は誰ですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)

1. コロンブス
2. マゼラン
3. バスコ＝ダ＝ガマ
4. マルコ＝ポーロ

問5 16世紀のヨーロッパでは、既存の教会のあり方を批判する動きから宗教改革が起こり、新教とも呼ばれるプロテスタントが誕生しました。この宗教的な対立が、当時のポルトガルやスペインといったカトリック諸国の海外進出にどのような影響を与えたか、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)

1. カトリックとプロテスタントの両勢力が協力体制を築き、イスラム教圏を回避するための新しい航路を開拓した。
2. 宗教改革によってキリスト教の権威が失墜したため、ヨーロッパ諸国は布教を目的とした海外進出を完全に停止した。
3. プロテスタント諸国が海外進出を独占したため、カトリック諸国は布教よりも国内の防衛を優先させた。
4. プロテスタントの勢力拡大に直面したカトリック側が、失った勢力を回復するために海外での布教活動を強化した。

問6 豊臣秀吉による朝鮮出兵が始まった1592年（文禄の役）よりも前の時代に、世界で起こった歴史的出来事として正しいものを答えなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)

1. アメリカ合衆国で、奴隷制の存廃をめぐる北部と南部の対立が深まり、南北戦争が始まった。
2. ポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸の喜望峰を経てインドに到達した。
3. フランスにおいて、市民が自由と平等を求めて蜂起し、フランス革命が起こった。
4. ドイツにおいて、当時として最も民主的といわれたワイマール憲法が制定された。

問7 16世紀後半に甲斐や信濃の一部で使われていた、度量衡に関する独自の基準である「甲州ます」の説明として、最も適切な記述を選びなさい。 (2020年 愛知県公立入試 類似)

1. 将軍の足利義昭が京都の商人に命じて作らせ、全国の有力大名に配布した標準的な枡である
2. 江戸幕府が貨幣制度の安定を目指して制定した、全国で唯一使用が認められた公認の計量器である
3. 南蛮貿易を通じてキリスト教の宣教師たちが持ち込んだ、西洋式の容積単位に基づいた枡である
4. 中央の京で使われていた標準的な枡とは容量が異なり、地域独自の経済基準として運用されていた

問8 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)

1. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため
2. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため
3. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めていたため
4. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため

問9 室町時代から戦国時代にかけて、家臣が主君に打ち勝って実力を伸ばすなどの風潮が広がりました。このような下剋上の風潮の中で、戦国大名が家臣の行動を取りしめ、領国を独自に支配するために定めた法律を何といいますか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

1. 公家諸法度
2. 分国法
3. 武家諸法度
4. 御成敗式目

問10 16世紀後半、甲斐や信濃の一部では「甲州ます」と呼ばれる独自の枡が使用されていました。中央の京で使われていた標準的な枡と容量が異なる「甲州ます」のような度量衡が地域ごとに存在していたことは、当時の政治体制についてどのようなことを示唆していますか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)

1. 海外貿易を円滑に進めるため、輸出入の拠点ごとに異なる計測単位を用いることが幕府より推奨されていたこと
2. 農業技術が未熟であったため、収穫量を正確に測るための全国一律の基準を作る必要性がなかったこと
3. 天皇を中心とした中央集権的な政治体制が、全国的な経済基準を統一するまでには至っていなかったこと
4. 足利義昭が強力な権力によって全国の度量衡を統一し、各地域の経済活動を完全に管理していたこと

問11 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)

1. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。
2. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。
3. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。
4. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。

問12 16世紀の記録において「長さ二、三尺の筒状の道具で、火を放つと雷のような音がする」と描写された武器が、日本の築城技術に与えた影響として正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)

1. 鉄砲による火災を防ぐため、城の周囲に広大な水堀を作るのをやめ、空堀が主流となった。
2. 鉄砲の威力に対抗するため、高い石垣や厚い壁、複雑な堀を備えた城が築かれるようになった。
3. 鉄砲の射程距離を避けるために、城はすべて人里離れた険しい山頂にのみ築かれるようになった。
4. 鉄砲の重さに耐えられるよう、城の主要な構造物がすべて巨大な岩石のみで作られるようになった。